

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立第二中学校）

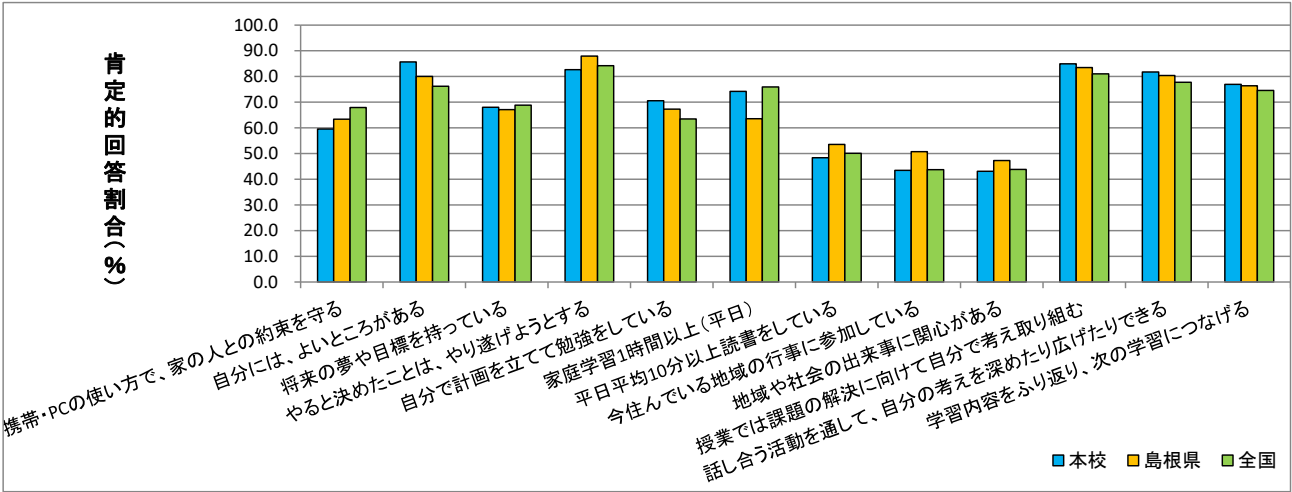
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○文脈の中で語句の意味を理解する力が優れている。 ○話し合いの話題や方向を捉える力が優れている。 ●言語についての知識・理解・技能が全国平均と比べやや劣る。 ●自分の考えをもつことが苦手な生徒が多く、記述式問題の無回答が多い。	・言語に関する小テストを定期的実施する。 ・個人の学習やグループでの話し合い学習の中で、自分の考えをもったり、深めたりする機会を継続的に設定する。 ・学習したことが生活場面で生かされていくことが実感できるよう、指導方法を工夫する。
数学	○図形の領域を好み、図形を見て問題を解く着想の良い生徒が多い。 ○解き方が分からない問題でも、あきらめず、いろいろな方法を用いて考えようとする生徒が多い。 ●関数について、事象を数学的に解釈し、説明する力が足りない。	・普段から、事象を身近な事柄と関連づけて指導する。 ・丁寧な指導を継続し、証明など、筋道を立てて考えることに粘り強く取り組む習慣を育てる。

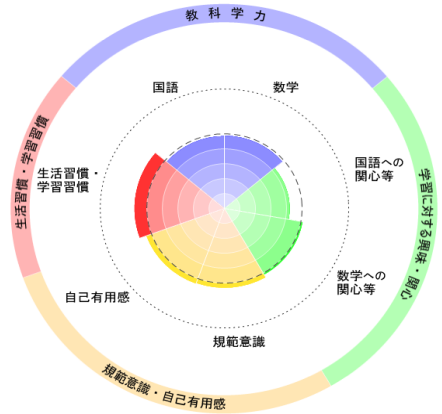
(2) 生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
○授業担当者に校内研究が浸透しているため、課題解決、話し合い、学習内容のふり返りの肯定的回答率が高い。 ○自分には良いところがある、将来の夢や目標をもっている、の肯定的回答率が高い。 ●携帯・PCの使い方で、家の人との約束を守っている生徒の割合が低い。	・携帯・PCの使い方について、学年だよりで保護者に啓発したり、警察による講演会を行ったりする。 ・引き続き校内で足並みをそろえた校内研究を進める。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・新型コロナウイルス感染防止の観点から、校外活動が例年より不足しているため、授業等で生徒が社会問題に広く関心をもてるようにする。

【受検者数】 225 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。